

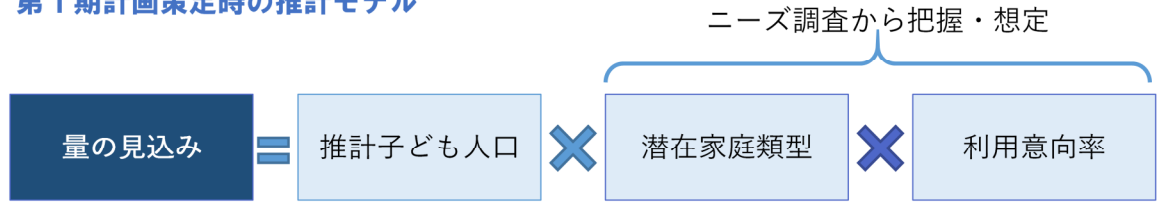
【南丹市】子ども・子育てニーズ調査の考え方

1. 調査票設計の前提となる考え方

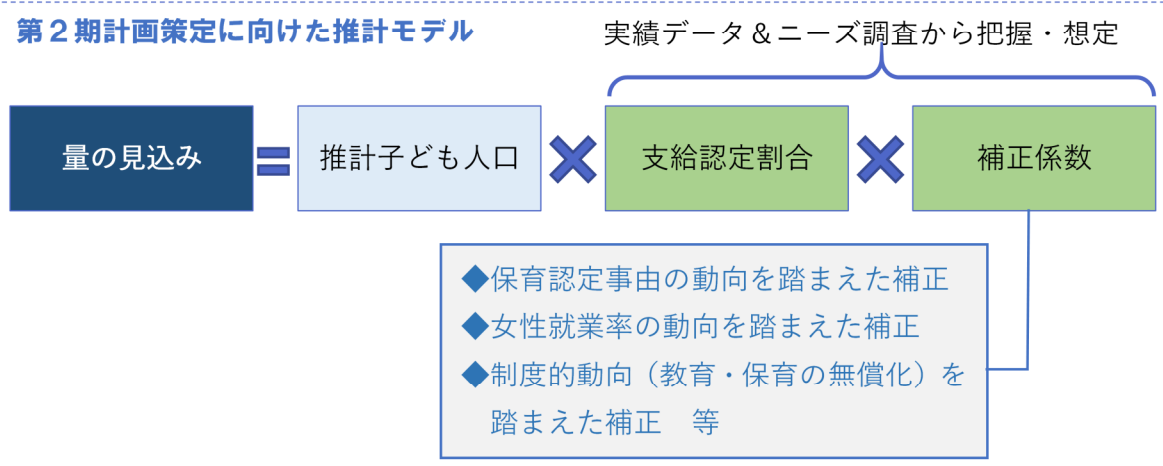
ニーズ量推計手法の転換

アンケート情報を中心にしたニーズ量推計手法（第1期策定時）から
実績データを中心にアンケート情報を活用するニーズ量推計手法へ

第1期計画策定時の推計モデル



第2期計画策定に向けた推計モデル



アンケートの主目的の転換

ニーズ量把握のためのアンケートから
多様な子育てニーズを把握するためのアンケートへ

第1期計画策定時の ニーズ調査の主目的

教育・保育事業及び地域
子育て支援事業に対する
ニーズ量の把握

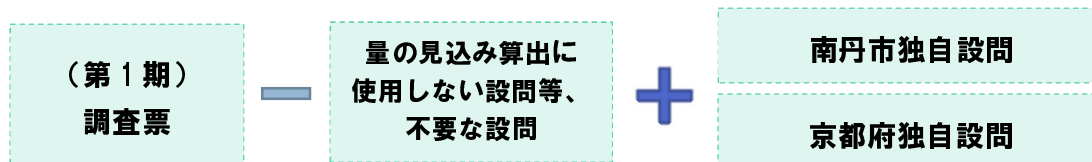


第2期計画策定時の ニーズ調査の主目的

子ども・子育てに関する
多様な地域ニーズの把握

2. 調査票の設問構成について

- 第2期におけるニーズ量推計等については、実績データに基づく推計を基本とすることを前提に、第1期策定時における煩雑かつ多量の設問について可能な合理化・簡略化を行う。
- 上記の合理化によって、第1期策定時の調査では十分に設定することのできなかつた地域の多様な子育てニーズ等を把握するための設問を設定することが可能。



※ただし、今回のアンケート調査は「未就学児童用」「小学生用児童用」に加え、子ども貧困関連の調査「小学5年生～中学3年生（児童生徒及び保護者）」「生活保護世帯」「一人親家庭」を同時期に実施する予定であり、世帯によっては2種以上の調査票に回答する必要があることから、その負担を考えると、各調査票の設問は必要最低限に抑える視点も必要。

3. 追加設問について

- 上記の考え方を踏まえ、設問の合理化・簡略化を行うとともに、次のような設問を追加。

【就学前児童用】

問番号	設問	備考
問16	妊娠中のストレス	市独自（妊産婦支援関連設問）
問17	児童虐待や不適切な子育て防止のために効果的なこと	市独自（児童虐待関連設問）
問19	両親の現在と希望の家を出る時間、帰宅時間	府独自（ワーク・ライフ・バランス関連設問）
問20-4	職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気の有無と理由	府独自（ワーク・ライフ・バランス関連設問）
問22	子育てと介護を同時に行った経験の有無	府独自（ダブル・ケア関連設問）
問22-1	子育てと介護を同時に行った際の就労状況	
問22-2	子育てと介護を同時に行った際に大変だったこと	
問38	子宝祝金の使途	市独自（事業状況把握設問）

【小学生用】

問番号	設問	備考
問14	児童虐待や不適切な子育て防止のために効果的なこと	市独自（児童虐待関連設問）
問23	入学祝金の使途	市独自（事業状況把握設問）